



HOP STEP JUMP

平成 29 年 7 月 10 日 (月)

1学期もあと10日。振り返りを大切に！

期末試験が終わり、1学期終業式の7月20日(木)まで、あと10日となりました。この時期は、これまでの取組を振り返り、よかった点と改善すべき点を整理して、夏休み、2学期に何をどのようにがんばっていくかを整理しておくとうい期間です。

学校においては、6月16日(金)に広島県教育委員会、広島県西部教育事務所、呉市教育委員会から6名の方に来校いただき、授業を見ていただくとともに、吉浦中の教育についての聞き取りが行われました。授業を見ていただいた感想として、「学校が本当に落ちついていますね。」「生徒も先生も授業中の表情がとてもいい。先生の指示が明確で、よい雰囲気で作られている。」などほめていただきました。また、「このように落ち着いた状況だからこそ、チャンスのある年です。今、取り組んでいる『授業のユニバーサルデザイン』について、しっかりと意識統一をして、取組を進めていき、学力をさらに高めていってください。」「もう少し、先生のことばを減らし、生徒が発言・発表する場面を増やすことを大切にされるともっとよいです。」といったアドバイスをいただきました。

また、6月20日(火)には、学校評議員会・学校関係者評価委員会を開き、全学級の授業参観、学校経営・評価についての説明、質疑応答等を行い、最後にデリバリー給食の試食もいただきました。ここでも、「授業中の生徒のようすをみて、以前と全く違うのに驚いた。前は教室の中に数名寝ている子などがいたのに、全学級、全員が一生懸命授業を受けていた。みんなのがんばりをみてすごいと思った。」など、生徒の皆さんのがんばりをほめていただきました。

学校では、褒めていただいた点を継続していくとともに、示していただいた改善点を全教職員で共有して、一丸となって頑張っていきたいと思っております。これからも、一人一人、学級、学校の振り返りを大切にして、みんなで「よりよい吉浦中学校」にしていきたいと思います。保護者のみなさん、地域のみなさんにも、これからもご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。



6月2日(金)~4日(日)呉市中学校総合体育大会が開催され、呉市体育館では総合開会式が行われました。全選手団の先導には唐川教諭が登場し、選手の模範となる行進を行いました。本校選手団(守岡教諭団長)も堂々の行進を行い、高い評価を得ました。



6月8日(木)吉浦中学校区第1回研究授業を本校で行い、小川教諭が総合的な学習の時間の授業をしました。今年度3年生は吉浦町の活性化に向けて「何をすべきか、何ができるか」について学んでいます。今日の授業では第1弾としてイメージキャラクターの具体的なプロフィールについて協議しました。授業後は小中の教員が授業についての協議会を行い、最後に大牛比治山大教授にご指導いただきました。



6月9日(金)呉掃除の会のご縁により、松田宏也先生をお迎えし講演会を開催しました。松田宏也先生は登山家で、今から35年前中国四川省にあるミニヤコンカで遭難し19日間彷徨の末、地元住民に発見され奇跡的に生還された経歴をお持ちの方です。凍傷で両手指、両足を切断されたもののその後も登山を続けられています。「願えばかなう~死線を越えて~」という題の講演でしたが、「空気、水のおいしさを感じることでできるのは日本人だけかなと思う」「頂上は折り返し地点、ゴールは我が家なり」「一歩一歩積み重ねが宝物をくれる」など大変貴重なお話をいただき心に残りました。



6月5日(月)~7月7日(金)「いじめ撲滅キャンペーン」期間中、「いじめゼロ」ののぼり旗を持って気持ちの良い挨拶とともに呼びかけをしてくださいました。「挨拶」と言えば、先日民生委員さんから、「道で出会った時、みんな立ち止まって気持ちの良い挨拶をしてください。」とほめていただきました。



